

～東京税理士会認定研修～
 「中小企業が直面する『株式』の課題と解決策
 ～事業の永続・発展のために～」を開催しました！

平成28年2月5日（金） 於：TKC東京本社3階研修室

TKC東京5会（東・東京会、東京都心会、東京中央会、城北東京会、西東京山梨会）では、東京税理士会より認定をいただき、年間11回の研修会の開催を予定しております。（本研修は東京都心会が担当）

平成27年度8回目の研修を2月5日（金）に中野 威人氏（税理士・公認会計士・東京中小企業投資育成株式会社）を講師にお迎えし、「中小企業が直面する『株式』の課題と解決策～事業の永続・発展のために～」と題して開催し、150名（当会は45名参加）の税理士が参加しました。



司会：利根澤 功一
 （東京都心会）

研修テーマ「中小企業が直面する『株式』の課題と解決策
 ～事業の永続・発展のために～」

研修講師： 税理士・公認会計士・

東京中小企業投資育成株式会社 中野 威人氏



中野 威人氏

聴きどころ： オーナー経営者の引退、社員株主の退職、社外個人株主の相続発生・・・。

中小企業においては、株主は個人が主体であることが多く、時の経過とともに株主が変化していくなかで、相続による分散、移動の際の重い資金負担、株主とのトラブル、経営権の不安定化など様々な課題に直面します。

そのため、株主構成が中長期的にどのように変化していくのかを見据えながら、それに対して打ち手を考えていくことが重要です。

- （1）個人は株式を永遠に保有できません
- （2）相続は譲渡制限の対象外
- （3）個人株主はある日突然トラブルを引き起こすことがある

これらの解決の選択肢について、具体的事例も踏まえながらわかりやすく解説いただきました。

